

第2回平塚駅周辺地区将来構想検討会議 会議録

1. 日 時 令和5年11月22日（水） 午後3時00分から午後5時00分

2. 場 所 市役所本館302会議室

3. 出席者 構成員 10名（敬称略）

梶田佳孝、野原卓、入江彰昭、三浦詩乃、常盤卓嗣、
飯田素子、吉田忠司、早川昌忠、井上雅己、市川雅範
事務局 8名

田代都市整備部長、高梨中心市街地活性化担当課長、
森川課長代理、担当5名

4. 傍聴者 なし

5. 議題

1. あいさつ

2. 会議の公開・非公開

3. 議題

(1) 検討経過と今後のスケジュールについて

(2) 「平塚駅周辺地区将来構想（素案）」の作成について

6. 配布資料

資料1. 検討経過と今後のスケジュール

資料2. 平塚駅周辺地区将来構想(素案)の構成イメージ

資料3. ライフスタイルについて

資料4. グランドデザインについて

資料5. 空間形成イメージについて

参考資料

1-1. 平塚駅周辺地区将来構想(たたき台)

1-2. 平塚駅周辺地区将来構想(たたき台)(公表版)

2. ライフスタイルのヒアリング結果

3. 学識経験者へのヒアリング結果

4. ワールドカフェの実施結果

5. 実現方策・ロードマップのイメージ

7. 会議内容

(1) 検討経過と今後のスケジュールについて

座 長：検討経過と今後のスケジュールについて、まずは事務局から説明をお願いします。

事 務 局：資料1 検討経過と今後のスケジュールについて説明をします。

3年間書かれていますが、ここでは今年度について説明をさせていただきます。4月に庁内での意見聴取後、6月2日に開催した前回の検討会議で皆様から意見聴取を行いました。検討会議等での意見を踏まえ、「将来構想（たたき台）」を8月に作成したところです。たたき台は参考資料としてつけさせていただいております。

たたき台の作成以降、素案の作成に向けて、9月に学生や子育て団体、市民活動団体等に対し、ライフスタイルに関するヒアリングを行いました。また、通りごとなどの空間イメージを作成し、それに対し、商店会長や自治会長から意見をうかがう「ワールドカフェ」を実施しました。詳しい内容の説明や報告は後ほどさせていただきます。

10月には、今日お集りの学識経験者の先生方へのヒアリングを行い、より内容のある素案としていくため、先生方の意見を伺いました。その内容については、参考資料3にまとめています。

本日の議題とさせていただいている内容について10月30日及び11月6日に庁内から意見を聴取し、本日検討会議の開催を迎えております。今後については、素案（案）を作成し、12月及び1月に庁内の会議を開催し、2月にはアウトリーチや市民説明会、この検討会議で意見を聴取し、それを反映させた素案について3月の庁内で調整を行ったうえで、素案作成としていきたいと考えております。なお、6年度については、前回お配りしている内容と同じとなっております。

資料2を御覧ください。たたき台作成以降の検討内容について簡単に説明します。まず、構想の構成イメージですが、たたき台の本文（本体）の構成内容を基本に、「③グランドデザイン」と「⑥まちづくりの進め方」の内容を加えることを現在考えているところです。「⑥まちづくりの進め方」の部分については、支援策の一つとして考えられる再開発事業への補助や規制緩和、ロードマップ、推進体制については、原則6年度に検討していくこととしておりますが、先行して敷地共同化への支援については、今年度7月から開始をしております。

「③グランドデザイン」については、当該地区の将来の骨格を示すものとして、内容について事務局において検討を進めております。

次にライフスタイルのヒアリングですが、こちらは将来像を示すに当た

っては、このまちをどのような人にどのような使い方、過ごし方をしてほしいのかを示すことが必要だと意見を多くの方からいただいたことを受け、学生や子育て団体等、様々な方から意見を伺い、そこから浮かび上がる将来のライフスタイルを示すことで、「②まちづくりのコンセプト」の部分の内容拡充を図るために行っています。

次に、地域との意見交換ですが、先ほどもお話しした通り、通りごとなどの空間イメージに対し、ワールドカフェ形式で商店会長や自治会長から意見をいただき、空間形成イメージのより具体化を図るために行いました。なお、ワールドカフェとは、「カフェ」のようなリラックスした雰囲気の中で、少人数に分かれたテーブルで自由な対話を行い、他のテーブルとメンバーをシャッフルして対話を続けることにより、参加した全員の意見や知識を集めることができる対話手法の一つになります。

なお、ライフスタイル、ランドデザイン、空間イメージに関する詳細については、次の議題の中で説明いたします。

座長：資料1スケジュール、資料2の構成イメージにつきまして御質問、御意見等ありますでしょうか。

構成員：まちづくりのコンセプトとランドデザイン、後ろでは空間イメージについて意見を頂いていると思うのですが、まちづくりの方針が浮いている気がします。「②まちづくりのコンセプト」、「③ランドデザイン」、「⑤空間形成イメージ」については地域の方々の意見等を踏まえて挙がっているのですが、「④まちづくりの方針」の7つの方針と噛み合っていない印象があります。環境配慮等、地域からの意見ではない部分が含まれているからだと思います。現状の課題の部分からやるべきことを抽出したものと地域からの意見の両方が合体されて方針が書かれるべきだと思います。構成の順番に聞いていると出てこない様な内容が入っているので、どこからの考え方でどの様なつながりがあり、この方針になるかがわかりやすく示されなければ実際としてのアクションに繋がりにくいのかなと思います。そのあたりの構成を整理すると良いかと思います。

事務局：方針につきましては「①まちづくりの現状と視点」から反映させていただいていますが、もう1度精査し、繋がりのわかる様に整理できればと思います。

座長：それではスケジュール、構成イメージについてはよろしいでしょうか。それでは、(2)「平塚駅周辺地区将来構想(素案)」の作成についてという事で事務局から説明をお願いします。

(2) 「平塚駅周辺地区将来構想(素案)」の作成について

事務局：議題2については資料3・資料4・資料5の3つの資料があります。

一つずつ資料について御説明した後に御意見いただければと思います。

資料3はライフスタイルについてというものになります。昨年度、庁内会議や検討会議で、どのような人がどのように20年後この駅で過ごしていくのかという人の行動が見えるようにしたらどうかという意見がございました。実際にまちに関わる人の意見を反映したライフスタイルをまとめるために、学生や子育て世代、高齢者の方々を対象とした買い物や子育てといった行動別にヒアリングを実施しました。

理想の1日をまとめており、これを載せることによって自分の行動に一部でもあてはまるような、そこからこんな行動ができる、過ごし方ができると想像をふくらませていただけるような章になっております。

ヒアリング内容としましては、まちづくりのコンセプトとして定めた「平塚駅周辺地区をみんなのリビングに」を核に、2つ目にライフスタイルの基礎となる情報の収集、3つ目に平塚駅周辺地区に対する御意見という形でいただきました。

ヒアリング対象としましては、市内の中学生から大学生までの学生、市民活動団体・子育て世代として「ママぎゅっと」、市民活動団体・アクティブシニアとして市民活動センターで事務局長、実際に活動している方の2名、その他として「まちなかベースきちきち」を使って最近起業をしました「にじいろランタン」に取材をしてきました。

行動別の主な意見としまして、2ページは買い物となります。学生の意見としまして「買うものがなくても見ているだけで楽しいのでフラッと行く」「買い物に行く際には、無料でおしゃべりや飲み食い等ができるスペースがあるとよい」といった意見がありました。起業した方については「おしゃれなカフェやランチができるお店があると、お昼に使えるし、お客さんにも紹介ができる」という意見をいただきました。子育て団体からは「雨の日には傘をささずに買い物ができる」とよい」「生活の導線上にあると利用しやすい」といった意見がありました。

3ページ目の余暇・市民活動について、起業した方は「子育てが一段落した人は趣味を活かしてお試しでお店をやってみたいという人は多い」、市民活動センターは「他団体とのつながりや広がりをもてるような場があるとよい」「そういった場については、空き地やオープンスペースも活用できるかもしれない」という意見をいただきました。

4ページ目の子育てについて、子育て団体からは「子連れでも歓迎されている雰囲気があると、目的がなくても気軽に行くことができる」「できれ

ば複合施設がよいが、移動がしやすい環境があれば、点在していてもよい」といった意見がありました。

5 ページ目の高齢者について「週に3日程度活動し、収入につながるようなことができらうれしい」という意見がありました。仕事に関する意見として、起業した方からは「気軽に出店できる仕組みとして、相談窓口や出店しやすいサイズ、家賃のテナントがあると起業したい方の活動が活発になる」という意見でした。

今主な意見を紹介しましたが、すべてまとめたものは参考資料1になっておまして、そちらを別途確認いただければと思います。今説明しました6 ページまでのヒアリング結果をまとめまして、それぞれの立場の人がどんな1日を過ごせるかをまとめたものがライフスタイルのイメージとなります。例えば8 ページ大学生のライフスタイルとなっております。9時からまちなかの広場に出店しているキッチンカーで軽食をとり、10時からはフリースペースで友達と課外活動、お昼になったら平塚にしかないお店でランチをとる。14時から魅力的なお店巡りを友達として、16時からコーヒーをテイクアウトしてまちなかのベンチで休憩、夜は文化芸術ホールでライブイベントに参加するといった一日にまとめました。

11 ページ子育て世代については、朝9時に託児所付のコワーキングスペースで子供を預けてリモートワーク、12時になりましたら子供を連れてまちなかマルシェでランチを買って、公園でランチを食べながらイベント情報などをチェックします。14時から来月に開催するポップアップストアのイベント会場の下見と打ち合わせをして、17時から仕事を終えて図書館で絵本を借りて併設されているスーパーで買い物をして、18時30分には自動運転のコミュニティバスで帰宅するといった一日を設定しています。

このようなイメージを設定しているのですが、イメージのうちいくつかを冊子に入れることによって市民の皆様がイメージを持てるようにしていきたいと考えております。資料3の説明は以上となります。専門の分野はあると思うのですが、私生活での経験等もあると思いますので、そちらをふまえて御意見いただければと思います。

構 成 員：資料3についてイメージが良すぎて、現実離れしており、ハレの日の様な状況で一般的な例ではないのではないかと思います。まち歩きをさせていただいた中で、ウォーカブルなまちにしたいというイメージは良いですが、駐車場ばかり、ごみが散乱するという様な周りの環境もありますので、エリア分けをしないとまちなか難しいのかな、というのが正直な所

です。

- 座長：ベストなイメージであると思いますが、実際にはあまり人が歩いていなかったという実感もございます。感想を含めてライフスタイルについてみて頂けたらと思います。
- 構成員：農商高校に御意見を頂き、用が無いと外に出ないという時代の中でいかに駅前に来ていただくかという発想がなければならぬ、タイムパフォーマンス、得が無いと外に出歩かないという若い方が多いと実感しておりますので、その様な方を取り込むための仕掛け、時代に合わせてソフトを作ることが求められると思います。
- 構成員：ペルソナで整理しているのは良いと思います。一方で、他のまちの事例を見ていると、機能が書き込まれていて、市民の方に将来こうなっていくことを見せたい時に、表現として書き込みすぎず、鳥瞰で見て、これが実現するならまちでこういったことが起きているのではないかというのをしっかり見せています。今回のたたき台にはそれが載っていないと思うため、作っておくとよいので是非御検討頂きたいと思います。また、やりたいことの見解と欲しいもの見解は精査しなければいけないと思っており、やりたいことは重視しなければならぬと思います。欲しいものについてはデザインによって違う形で実現できることもあるので精査して取り入れるべきであると感じました。
- 事務局：ライフスタイルの後ろに、まちの中でこういった動きが起きているか、その重なりが見えるページを作ろうとしています。実現性の部分もあるので庁内を含めて検討していきます。
- 構成員：見えてすごく良いなと思います。ただ、庁舎と違い、民間の経営者が作っていくので難しい部分もあります。民間の人たちは元が取れないといけないため、どのようにまちの中の人に理解してもらうか、どのように店舗を誘致するのかが、なかなか難しいかなと思います。個人の経営者の方に理解してもらうには、もう少し時間がかかるのかなと思います。
- 事務局：資料2の構成「⑥まちづくりの進め方」の部分で実現のための支援策をまとめていくつもりです。ここでは支援策や誰が何をいつやるのか等をロードマップで記載する予定であり、来年度以降検討したいと考えているアクションプランの中で実現できる方法を考えられればと思っています。
- 構成員：ヒアリング結果、インタビュー結果をどのように抽出して分析し、次に活かすかが重要になると思います。この結果には3パターンの意見があり、属性ごとのメジャーな意見、2つ目は属性(世代)に関わらず共通な意見、3つ目はごく一部のマニアの面白い意見だと思います。属性別にみると中高生は全国的に自習室が欲しいという意見があります。子育て層の方

は社会的孤立を孤立するためにも交流の場所、自分の手仕事を発揮したいという方の様な各属性のメジャーな意見があります。治安が良い、おしゃれな場所、開かれた場所等ほどの属性にも共通の意見となります。また、eスポーツの様に一部にリーチする様な話もあります。これらをどのように持続的なニーズにしていくか、活かし方の工夫が出来ると良いというのが1点目です。2点目はペルソナに違和感があるのは1日で設定しているからだと思います。各属性にピークタイムがあると思います。横浜駅前でインカレ的に高校生が集まり、ビブレ前で文化祭を行い、盛り上がる子もいます。メジャーではないが、そういう人もいるため、同じペルソナでもいくつか選択肢があるはずであり、無理に1日の設定にしなくてもよいのではないかと思います。部分的にまちなかにいるかもしれない、部分の選択肢の例があるとあてはまる感覚があると思います。また、なんとなく人数のイメージがあると次に活かせる資料になるかと思っています。

構 成 員：若い方が駅の周辺の機能についてどのように思っているか参考になる資料かと思っています。「もの」を売るだけではなく、「こと」に時間をつかっていただける様な作り方をしなければいけないなと思いました。交流できる場、繋がりをつくっていくことも考えていかなければならないと思いました。また、ペルソナは参考になり、ラスカ平塚でもテナント誘致に当たって考えていますが、こういう場面でこういう風に過ごしてほしいというように考えていくと良いと思います。

構 成 員：皆様と同様に、1日このような行動をしている人はいないと感じました。断片的であればいると思います。

構 成 員：ライフスタイルのヒアリングは非常に重要だと思いますが、ペルソナは1日滞在するとなると腑に落ちない様に感じるので、コンセプトにつなげる中で納得させるか、断片的に見せるかのアプローチの工夫はあると思います。金融機関としては、どれ位の対象者が居て、仕掛ける側のインセンティブ、経済的なアプローチにも繋がるどころがコンセプトでは必要なのかなと感じました。

座 長：駅周辺で他にこのような活動があるのでは、という意見があれば言っていたきたい、またこのような層のヒアリングした方が良い等の意見もあれば伺いたいと思います。

構 成 員：ライフスタイルのヒアリングで中等教育学校や農商高校が対象となると平塚生まれの地元の人たちに意見を聞いているのか、疑問があります。

事 務 局：学校にお願いをする際に、市内の学生、市外の学生のように様々な学生をミックスする様にお伝えして実施しました。ヒアリングした感覚としては、住んでいる場所で意見にあまり差は生まれていないと思いました。

構 成 員：賑わいをつくるという部分で茅ヶ崎のたかすなヴィレッジや武蔵境のホッコ等、ちょっと商売をしたいという人が集まり、地元の人を巻き込むような事例もあります。その様な仕組みを市役所の方からも仕掛ける、エリア分けにより賑わいを創出し、それを永続的にしていく仕組みができると良いと思います。

事 務 局：チャレンジショップまではいかないですが、ちょっとしたものを売る空間を、ということだと思います。「まちなかベースきちきち」でも近い取り組みを実施していますが、より大きいものにニーズがあるなら、誘導していく必要があると思います。そういったチャンスにつながる仕掛けも考えていきたいと思います。

構 成 員：駅前で起業するには家賃が高い状況です。まちなかは、起業してもらう場所としてチャレンジしてもらうことが必要であると思っているため、どのくらいの家賃が適正か行政の方も、私たちが調べると良いと思います。また、まちの中で時間をつぶす場所が無い状況です。ベンチ等は管理できるような環境づくりも一緒にやらせてもらえればと思います。

構 成 員：横浜の事例では、空きビルは減価償却が終わり、1階にチェーン店が入ると上の階がボロボロになってしまっています。上の階が中途半端な大ききさで使いづらいときは、狭く小分けして5万円くらいでチャレンジしたい人に貸すと埋まる事例があります。また、ビル全体で考えると賃料が結果として上がるため、1階を少し自由に使うことができるようになります。イメージのライフスタイルと場に落とし込むための仕組み、知恵のようなものを重ねて考える方法もあるかと思います。

座 長：それではグランドデザインについての説明をお願いします。

事 務 局：資料4について説明します。1ページがグランドデザインの役割です。まちづくりのコンセプトやライフスタイルを実現していくために、効果的な都市空間の骨格をグランドデザインとして設定しています。平塚駅周辺のエリアは広いですので、一律にまちづくりを進めるのではなく、右の図のようにエリアを重ねて、メリハリをつけてまちづくりを進めるのが有効であると考えています。レイヤーとしまして、1つ目は都市機能の集積を誘導するエリア、2つ目はウォークアブルネットワーク、3つ目はグリーンネットワーク、4つ目は交通マネジメントを設定することでメリハリをつけていきます。3ページがその4つのエリアを重ねたグランドデザインのイメージです。ピンク色が都市機能の集積を誘導するエリアでして、北口、南口、西口周辺と湘南スターモールを含むエリア、それから見附台周辺地区を不特定多数の人が集まって交流しにぎわいの中心とな

るエリアとして定めています。このエリアは、赤丸のように、まちのリニューアルによって交流・賑わいづくりに資する都市機能を誘導する地点としています。一方で星印は小さなコミュニティ活動を行う拠点となり得るフリースペース、カフェといった機能が地区内に分散していくように誘導するのが望ましいと考えています。2つ目はウォーカブルネットワークです。黄緑で示している都市機能の集積を誘導するエリア内の路線については、道路空間内に滞留空間を確保することを目指す道路としています。また緑の路線は、都市機能の集積を誘導するエリアと地区外の主要な施設をつなぐネットワークとしまして、歩きやすい環境を充実させていくこととしています。3つ目のグリーンネットワークですが、ウォーカブルネットワークで定めた路線について、官民連携で木陰がある緑豊かな環境を形成することとしています。最後に交通マネジメントです。先ほど説明した1から3の要素を実現するためには、道路網の整備、駅前広場を適正に配置する等の機能分担が必要であると考えています。北口、南口、西口で機能分担を図ることによって、公共交通のネットワークの維持、アクセス性を向上します。Pの印は都市機能を誘導するエリアの外側に時間貸しの駐車場を配置しましてアクセス性の確保、ウォーカブルネットワーク内の過剰な自動車の流入を抑制していくこととしています。このようなレイヤーを重ねて、ランドデザインを設定したいと考えています。説明は以上です。

構 成 員： グランドデザインを見て市民はどうアクションすればよいかのわかりにくいと思います。行政がハード整備してから民間の投資を呼ぶという形、既にまちの方が思いを持っていて、新しく開発する際に公共貢献する形、「まちなかベースきちきち」の様な場所を育てていく形の3通りがあると思いますが、それらの見通しを付けたうえでランドデザインを考えて頂けると良いかと思います。

構 成 員： 北側には八幡宮があるかと思いますが、八幡宮との関係性、その先にある総合公園までつなげていくという考えが見えるとより良いかと思います。

事 務 局： 資料4の3ページになりますが、地区の外側にも矢印が伸びており八幡宮、総合公園へのアクセスを表しています。

構 成 員： 物理的なつながりと位置づけ、意味づけがあると良いかなと思います。

事 務 局： 空間形成イメージではエリアごとのイメージを書いておりますので、こちらに通りのリソースを示し役割分担が出来れば良いかと思っています。

構 成 員： まちなかの骨格の前にエリア自体の位置づけ、どのように考えるかをもう一度整理できると良いかなと思います。また、コンセプト、まちづくりの方針、ランドデザイン、空間イメージの関係性がわかりにくく、内容

も似ています。まちの中には道路という公共空間、ポイントになる駅前広場や公園、民間の方の開発を行う場所等がありますが、この構想は道路や広場の整備で周りを先導、引っ張っていく様な構想に見えるのですが、その様なことがランドデザインで示されるべきであると思います。そうすると大きな方向性、進み方の骨格がわかりやすくなると思います。また、まだ検討の段階なので、より大胆なシナリオがあっても良いかと思いません。例えばシニアカーが自由に行き来できるまちのネットワークを想像してみると様々な課題が見えます。高齢者の方の為だけではなく、電動車いす、ベビーカーの為にもなり様々な人にリーチする可能性が見えるため、1回想定をしてみることで何が出来るかが見えやすくなる気がします。ランドデザインの書き方を工夫するとより良いかと思いません。

座長： バリアフリーの話もありますので、その様なところも含めて考えて頂ければと思います。交通ではフリンジパーキングというキーワードが挙がっていますので、各項目に入れていただくとよりわかりやすいと思います。

構成員： 現状の問題、そのためにすべきことがよくわからなくて、平塚市としてエリアごとにどのような問題があり、これを行うことで何が解消するということがわからないです。みんなのイメージからスタートしているか、課題を解決するためにまとめているのか、アプローチの方法がわからなかったです。そのあたりを教えてください。

構成員： アプローチは両方あると思います。地域の方々の意見と大枠の目標が噛み合うと良いのだと思います。それぞれは必要なパーツだと思うので、もう少し整理できると良いかと思いません。

構成員： 参考資料1-1の4ページ、資料5の間にもう1つステップがあるのではと思っていて、そのあたりの結びつきが理解しづらいと思います。

構成員： 住民、プレイヤーからすると非常に納得のできる資料かと思いません。課題の部分はまちづくりの現状で整理されているかと思いませんので、それらが結び付けば良いのかなと思います。

事務局： 資料5の説明です。空間形成イメージについてです。1枚目を御覧ください。将来構想の策定に向けまして、昨年度はたたき台を作成し、駅前広場や道路といった都市を構成する4つのイメージについて、場所を特定せずにお示ししました。その後、現在平塚駅周辺地区の通りやエリアに反映したイメージを検討しているところで、1ページの右側にある駅から近い主な道路などを検討しています。それを8つのエリアで進めていまして、1つ目がスターモール、2つ目が紅谷パールロード、3つ目大門通り・浜大

門通り、4つ目公園通り、5つ目フェスタロード、6つ目が見附台周辺地区、7つ目が広場・公園、最後が駅前広場です。資料5の2ページ以降に、二枚一セットで各路線やエリアのイメージを示しています。それぞれについて、1枚目は現状やニーズのデータ、本日は2枚目の各エリアのイメージについて御説明します。

1つ目の湘南スターモールです。3ページです。七夕のメイン通りとして商店街を維持するとともに、歩道空間を活用し、滞留空間を作ることで、ゆっくり滞在したくなる空間が求められています。コンセプトとして、「豊かで楽しい時間を過ごせるメインストリートへ!」と挙げており、右側にイメージを示していますが、道路空間を活用して魅力的なカフェを出店したり、滞留空間と合わせた緑を配置したり、湘南スターモールらしい景観を演出することを挙げています。

続いて5ページです。紅谷パールロードです。まちなかで唯一段差がなく、歩行者専用となっている通りです。通り全体を多様な使い方ができる空間にしていくことが求められています。コンセプトは「店舗内と道路空間を一体的に活用し、飲食をメインテーマとするモール」としています。イメージ図として、開発に合わせて広場や魅力的なカフェでゆっくり過ごせる場の創出や、キッチンカーや仮設店舗で短期の出店機会を創出すること、平塚の顔となるまちなかのイベント時の柔軟な活用を挙げています。

続いて7ページです。大門通り・浜大門通りです。平塚商業発祥の地として、平塚八幡宮の表参道を感じられる空間が求められています。また、イベント等をふまえて道路空間を有効に活用していくことが求められています。コンセプトは「平塚八幡宮の表参道として、にぎわいや落ち着きのある雰囲気をつくる!」としています。イメージとして、街灯や店舗の装飾、色彩の統一により平塚八幡宮とのつながりを表現することや、イベントを考え、荷捌き時の搬入車の駐車を工夫していくこと、歩道空間を店舗と連携して利用することを挙げています。

続いて9ページ、公園通りです。平塚市総合公園へつながる通りとして、多様なスポーツや緑を感じることができ、市外からの方をお出迎えする空間が求められています。コンセプトは「プロスポーツと緑を感じるおしゃれなストリート」です。イメージとして、プロスポーツとコラボした空間演出や、飲食店と歩道を一体的に活用することや、来街者をお出迎えするような植栽を市民と一体となって行う絵を描いています。

続いて11ページ、フェスタロードです。平塚のシンボル軸として注目を集めることができる通りで、道路空間に余裕があり、多様な交通が集まっ

ているため、平塚発の新技术やグリーンインフラの新技术等を活用した先進的な通りにしていきます。コンセプトは「平塚の最新技術を世界へ発信するストリート」です。イメージとして、新技术を生むために市内の企業間で連携できる場所ですとか、通る人が最新技術に触れる機会の創出、自動運転等最新技術の社会実験を実施する場所をイメージとして描いています。

続いて13ページ、見附台周辺です。平塚の歴史軸として東海道平塚宿を活かした空間が求められています。歩道等の空間に余裕があるため、歩道等の空間を活用し、宿場の名残や雰囲気を感じられる空間が求められています。コンセプトは「江戸見附のある東海道を感じるエリア」としまして、東海道の雰囲気に合った休憩施設の設置や、道路空間を柔軟に活用できる仕組みを作ることを挙げています。

続いて15ページ、まちなかの公園・広場です。現状、まちなかの公園・広場は利用が少なく使いづらい状況です。今後、安全で快適に使いやすい公園・広場が求められています。コンセプトは「安全に快適に過ごすことができ誰もがつかいやすい公園・広場」です。イメージとして、広場にして見通しを確保することや、井戸端会議、コミュニティが生まれるような東屋を設置し空間を整備していくこと、イベント時には多様な使い方ができる空間や仕組みづくりを挙げています。

17ページ、最後に駅前広場です。まず17ページでは北口駅前広場のイメージを描いていまして、駅前広場は多数の交通手段があり飽和状態となっているため、機能分担が求められています。コンセプトは「様々な公共交通へ乗り換えやすく多様な活動と出会える拠点へ！」としまして、滞留・交流区間を創出し、店舗と一体的に利用する広場を設けていくこと、また最新技術を活用した多様な公共交通に乗り換えられるハブ機能を整備することを挙げています。

18ページには、南口、西口の駅前広場を示しています。南口のコンセプトとして「様々な公共交通へ乗り換えやすく海を感じる交流拠点へ！」としまして、現在行われる自動運転等最新技術に対応したロータリーの整備、広場内での海を感じるイベントの実施を挙げています。西口になりまして、コンセプトは、より快適に電車に乗り換えられる新しい拠点へ！としまして、空間のイメージは、多くの方が集まる機能を誘導しながらロータリーを整備したりですとか、スポーツ観戦者の玄関口として来街者へ向けたまちの情報発信を挙げています。説明は以上です。

座長：資料5についての御意見はいかがでしょう。

構成員：20年後の駅前の将来構想ということで自動運転が進むことが考えられ

るため、北口にも自動運転の記載をしていただければと思っております。
バス、タクシー、自家用車、自転車が混同してしまうと自動運転は難しい
ため、出口ごとの役割分担も考えて頂ければと思います。

事務局：ウォークブルの実現にあたっては交通の整備は必要と考えていますので
駅の出口の役割分担は考えていきたいと思っております。

座長：先程ベンチの管理の問題という様な話もありましたが、お気づきの点があ
ればお願いします。

構成員：現場にいと夜は特に管理が難しく、みなさんが安心して使える環境を作
っていただければと思います。一方で、まちなかに時間をつぶせるような
場所が無い場合、このようなものは必要だと思っております。もう少しゆとりが
あるような場所があればと思います。大和市のシリウスでは、午前中は高
齢者の方、昼は子連れの方、夜は学生が集まっています、その様な空間があ
ると良いと思っております。

構成員：イメージには電柱、電線が無いのですが、現状ないという事なのか、空間
を整備するにあたって地中化をする予定ということではよろしいのかとい
うことと、イメージに日常的なイメージと非日常のイメージとの使い分
けができるか良いのかなと思っております。アートや文化のある地域かなと
思っておりますので、その様な部分でも空間イメージのイラストの使い分けが
あると良いかなと思っております。

事務局：電柱・電線についてすべてを無電柱化するという事ではありませんの
で、書いた場所については確認していきたいと思っております。イベント時等の
イメージは、七夕まつり等も参考にしながら入れられる部分があれば入れ
ることも検討できればと思います。

構成員：資料5の3ページを例として、パークレットがありますがこれを誰がど
のようにやるかを併せて考えることが重要かと思っております。サンフランシ
スコでは沿道の店舗が手を挙げてモチベーションのある人が責任も持つ
てやる様な形になっています。絵のような状態を作った際に、どのような
メンバーが管理するかまで考えられると良いと思っております。また、イメージ
では通りごとの個性がわかりにくい、一緒に見えてしまう様な表現にな
っていると思っております。ページの左側は通りから出てきた個性に方針を振
り分ける書き方に変えた方が良いかと思っております。

構成員：「平塚駅周辺をみんなのリビングに」というコンセプトがあったと思いま
すが、各通りにもまちづくりのコンセプトが出てきていてどれがコンセ
プトかわからなくなってしまうと思っております。

事務局：コンセプトという言葉が重なってしまいわかりづらいので整理したいと
思っております。

- 構 成 員：フィードバックするとこれらがみんなのリビングになっているかが確認できると良いということだと思います。
- 構 成 員：たたき台の中で建物、都市基盤の老朽化についてあったかと思いますが、各通りのイメージとはどのようにリンクしているかが気になりました。
- 事 務 局：資料5の5ページの様な建て替えに合わせることを記載していますが、再開発等については地権者の事情もあり書きにくい部分もあるため、どのような表現がわかりやすいか詰めていきたいと思います。
- 構 成 員：南口での自動運転ということですが、北口でも自動運転の記載をして頂ければと思います。平塚市を観光地と見た場合、観光バス等を誘致できるような場所があると、平塚市の活性化にもなっていくかと思っています。
- 構 成 員：資料5の17ページの駅前広場について、デッキが必要な根拠がわからず、イメージが先行しているなど感じます。デッキは空間を生み出すためにやっているのか、乗換のための導線なのか等の考え方がわからなかったです。デッキは資料5の中で一番大きな施策でもあると思うのでより慎重に出された方がよいかと思っています。また、北口の絵の南口側のイメージと南口の絵でイメージが違うので整合をとった方がよいかと思っています。
- 事 務 局：できることだけを描いてしまうと構想にならないので、こうなったらいいという希望、夢もある程度描きたいと思っています。20年後どうなっていくかは検証が必要で、利害関係者がいる中で思い通りにいかない部分もあると思いますが、市民、事業者に統一的なイメージを示すためには必要と考えています。その実現に当たって、必要な協力をお願いしたいです。
- 構 成 員：イメージの絵は極めて諸刃の剣であり、空間は1つしかないため、決めないと書けないので、相当難しいです。イメージの出し方について、かなり気を付けないといけないと思います。何を言いたいかを示さないと一人歩きしてしまうので気を付けて頂きたいと思います。
- 構 成 員：事前にイメージを見たときにも現在の地権者は自分たちの土地がどうなってしまうのか、といった懸念がありました。多くの地権者がいらっしゃいますので、誤解を生まないように進めていく必要があると思っています。また、参考資料1-1について41ページでコロナについての記述等文言の見直しが必要かと思っていますので、直させて頂ければと思います。
- 座 長：時間にもなりましたので何か気づいた点がありましたら、また御意見頂ければと思います。それでは以上で本日の議題はすべて終了になります。御意見ありがとうございました。事務局にお返ししたいと思います。
- 事 務 局：長時間にわたりありがとうございました。また、進行を務めていただきありがとうございます。以上で本日の会議を終了とさせていただきます。どうもありがとうございました。以上